



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月7日

上場会社名 株式会社エムケイシステム

上場取引所 東

コード番号 3910 URL <https://www.mks.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 三宅 登

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括

(氏名) 吉田 昌基

TEL 06-7222-3394

四半期報告書提出予定日 2022年11月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	1,335	7.6	40	32.8	44	359.1	16	
2022年3月期第2四半期	1,241	10.0	30	60.3	9	88.4	4	

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 16百万円 (%) 2022年3月期第2四半期 5百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	3.11	
2022年3月期第2四半期	0.88	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	2,408	1,397	57.8
2022年3月期	2,231	1,424	63.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 1,390百万円 2022年3月期 1,417百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		8.00	8.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,115	13.6	272	87.6	282	118.3	175	92.6	32.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	5,428,000 株	2022年3月期	5,428,000 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	506 株	2022年3月期	506 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	5,427,494 株	2022年3月期2Q	5,427,494 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染者数増加の影響を受けつつも各種制限の緩和等により経済活動が本格化する一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化を背景にした資源価格の高騰、世界的な金融引き締めによる急激な為替変動など、内外経済に与える影響は依然として不透明な状況です。

国内の情報サービス業界及び当社グループの関連する人事労務領域においては、政府が推進する働き方改革や新型コロナウイルス感染拡大に伴うテレワークへの急速な取り組み、業務効率化対応に伴うDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進などを背景に、企業の投資需要は引き続き増加しているものの、内外経済に対する影響への懸念から、新規の投資に対する先送りなど、投資に対する動きには慎重さが見られました。

このような状況の中、当社グループは、オンラインセミナーやリモート会議などを積極的に活用し顧客の業務効率化並びに付加価値創造を支援し、顧客満足度をより一層高めるべく努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は売上高1,335,613千円（前年同四半期比7.6%増）、売上総利益634,337千円（前年同四半期比5.2%増）、営業利益40,063千円（前年同四半期比32.8%増）、経常利益44,228千円（前年同四半期比359.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益16,877千円（前年同四半期は4,794千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。また、当社グループが重要な経営指標と考える自己資本利益率（ROE）は、連結ベースで1.2%（前年同四半期は△0.4%）、当社単体では3.7%（前年同四半期比2.5ポイント増加）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

(社労夢事業)

社労夢事業は、社会保険労務士事務所、労働保険事務組合及び一般法人における、社会保険、労働保険、給与計算等の手続きをサポートする業務支援ソフトウェアを提供しております。主力製品である社労夢（Shalom）シリーズをはじめ、マイナンバー管理システムの「マイナボックス」、WEB年末調整システム「eNEN」などのクラウドサービスで主に構成されます。

働き方改革やテレワーク推進のための業務効率化の必要性を背景に、主要顧客である社会保険労務士市場のみでなく、一般法人市場においてもシステム導入意欲が高まっている一方で、競合による新規参入が散見され、価格面も含め競争の激化が予想されます。

社労夢事業では、社労夢（Shalom）シリーズをはじめ、WEB年末調整システム「eNEN」、顧問先アプリケーション「ネットde顧問」などの各製品群の品質向上と機能拡充などを図るとともに、「社労夢（Shalom）V5.0」の次期バージョンとなるシステム、「FOREVER」の開発を進めております。

このような中、社労夢（Shalom）シリーズをはじめとするクラウドサービスの月額課金積み上げが順調に推移したことに加え、毎年多くの引き合いにつながっているIT導入補助金の採択により、ハウスプランの契約件数を伸ばしました。なお、一部製品については2022年7月より月額利用料の価格改定を行っております。また、日本最大級の管理部門向け展示会「第10回 HR EXPO人事労務・教育・採用」への出展を行い、新規ユーザーの獲得に努めました。

売上高の内訳としましては、クラウドサービス売上高が1,059,884千円（前年同四半期比9.5%増）となり、その内、ストック収益であるASPサービス売上高が985,363千円（前年同四半期比11.2%増）、システム構築サービス売上高が74,520千円（前年同四半期比8.6%減）となりました。システム商品販売売上高は44,185千円（前年同四半期比7.1%減）となりました。

一方で、一部製品の償却が終了したことなどによりソフトウェア償却費が減少したことや、積極的な採用を控えたことで、全体的にコストが抑えられることとなりました。

以上の結果、社労夢事業の売上高は1,114,159千円（前年同四半期比7.8%増）となり、売上総利益は582,252千円（前年同四半期比9.8%増）、営業利益は73,911千円（前年同四半期比56.0%増）となりました。当社グループで重要な経営指標としている売上高に対する営業利益の比率は6.6%（前年同四半期比2.1ポイント増加）となりました。

(CuBe事業)

CuBe事業では、大手企業の人事総務部門向けに業務プロセスの効率化を目的として個社毎にカスタマイズしたフロントシステムの受託開発と、大手企業向け受託開発を通じて蓄積したノウハウを活かし、中小企業での利便性を

実現したクラウドサービス「GooooN」の提供を行っております。

フロントシステムの受託開発においては、顧客となる大企業や自治体などからの保守売上が順調に積み上がった一方、システム更新に対する企業の投資需要に応える新たな開発案件についても、例年と同じペースでの納品がありました。クラウドサービス「GooooN」においては、機能強化及び販売ルートの開拓に努めました。

コスト面においては、開発活動における競争力強化や営業活動における販促投資に向けるコストが先行する状況となりました。

以上の結果、CuBe事業の売上高は226,760千円（前年同四半期比1.5%増）、売上総利益は52,469千円（前年同四半期比30.4%減）、営業損失は41,873千円（前年同四半期は20,930千円の営業損失）となりました。なお、CuBe事業の営業損失については、のれん償却額19,430千円を反映しております。

(2) 財政状態に関する説明

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末と比較し137,523千円増加し、598,575千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は245,293千円（前年同四半期は210,737千円の獲得）となりました。主な増加要因は、減価償却費165,269千円、売上債権の減少36,503千円、主な減少要因は、棚卸資産の増加20,708千円、仕入債務の減少14,249千円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は284,420千円（前年同四半期は227,101千円の使用）となりました。主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出65,193千円、無形固定資産の取得による支出219,372千円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により獲得した資金は176,650千円（前年同四半期は126,869千円の使用）となりました。主な増加要因は、長期借入れによる収入300,000千円、短期借入金の増加46,000千円、主な減少要因は長期借入金の返済による支出126,126千円、配当金の支払額43,223千円などによるものであります。

当社グループの資本の財源及び資金の流動性につきましては、次のとおりであります。

当社グループの資金需要につきましては、原則、営業キャッシュ・フローで得られた資金から、設備投資、借入金の返済などを実施しており、自己資金により流動性は確保できております。また、必要に応じ、大規模な設備投資については、金融機関からの借入で賄う予定であります。

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、1,154,451千円（前期比9.2%増）となりました。主な内訳は、現金及び預金605,670千円、売掛金438,553千円となっております。

また、固定資産の残高は1,253,943千円（前期比6.7%増）となりました。主な内訳は、ソフトウェア462,551千円、のれん155,447千円、差入保証金162,811千円となっております。

以上の結果、総資産は2,408,395千円（前期比7.9%増）となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、782,807千円（前期比4.1%増）となりました。主な内訳は、1年内返済予定の長期借入金201,725千円、未払金137,487千円、前受金72,611千円となっております。

また、固定負債の残高は228,042千円（前期比310.2%増）となりました。主な内訳は、長期借入金225,000千円となっております。

以上の結果、負債合計は1,010,849千円（前期比25.2%増）となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における株主資本は、1,390,950千円（前期比1.9%減）となりました。主な内訳は、資本金219,110千円及び資本剰余金202,122千円、利益剰余金970,216千円となっております。

以上の結果、純資産は1,397,545千円（前期比1.9%減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月9日に公表した「2022年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載しております連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	468,147	605,670
売掛金	475,057	438,553
商品	35,267	33,683
仕掛品	7,096	29,471
貯蔵品	155	72
前払費用	60,730	43,459
未収還付法人税等	5,300	4
その他	5,229	3,536
流動資産合計	1,056,984	1,154,451
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	124,164	118,388
車両運搬具（純額）	866	430
工具、器具及び備品（純額）	118,476	146,462
有形固定資産合計	243,507	265,281
無形固定資産		
ソフトウェア	438,283	462,551
ソフトウェア仮勘定	124,583	176,313
商標権	1,086	971
電話加入権	1,218	1,218
のれん	174,878	155,447
無形固定資産合計	740,050	796,501
投資その他の資産		
出資金	60	60
差入保証金	162,956	162,811
繰延税金資産	28,285	29,189
その他	98	98
投資その他の資産合計	191,400	192,160
固定資産合計	1,174,958	1,253,943
資産合計	2,231,942	2,408,395

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	61,632	47,383
短期借入金	126,000	172,000
1年内返済予定の長期借入金	197,259	201,725
未払金	156,920	137,487
未払費用	16,222	21,187
未払法人税等	8,619	35,245
未払消費税等	17,139	14,944
前受金	86,840	72,611
役員退職慰労引当金	5,000	—
賞与引当金	67,789	71,509
その他	8,283	8,713
流動負債合計	751,705	782,807
固定負債		
長期借入金	55,592	225,000
退職給付に係る負債	—	3,042
固定負債合計	55,592	228,042
負債合計	807,297	1,010,849
純資産の部		
株主資本		
資本金	219,110	219,110
資本剰余金	202,122	202,122
利益剰余金	996,759	970,216
自己株式	△499	△499
株主資本合計	1,417,493	1,390,950
非支配株主持分	7,152	6,595
純資産合計	1,424,645	1,397,545
負債純資産合計	2,231,942	2,408,395

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	1,241,209	1,335,613
売上原価	638,324	701,275
売上総利益	602,885	634,337
販売費及び一般管理費	572,727	594,274
営業利益	30,158	40,063
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	1	1
受取賃貸料	21,402	21,402
保険解約返戻金	—	1
仕入割引	21	45
還付加算金	—	27
業務受託料	—	3,000
その他	1,800	—
営業外収益合計	23,228	24,479
営業外費用		
支払利息	1,038	1,300
賃貸収入原価	19,014	19,014
支払補償費	23,700	—
営業外費用合計	43,752	20,314
経常利益	9,634	44,228
税金等調整前四半期純利益	9,634	44,228
法人税、住民税及び事業税	15,331	28,811
法人税等調整額	△690	△904
法人税等合計	14,641	27,906
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△5,006	16,321
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△211	△556
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,794	16,877

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△5,006	16,321
四半期包括利益	△5,006	16,321
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,794	16,877
非支配株主に係る四半期包括利益	△211	△556

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,634	44,228
減価償却費	177,730	165,269
のれん償却額	19,430	19,430
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	—	△5,000
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	3,042
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,947	3,720
受取利息及び受取配当金	△4	△3
支払利息	1,038	1,300
売上債権の増減額(△は増加)	38,129	36,503
棚卸資産の増減額(△は増加)	△67,474	△20,708
仕入債務の増減額(△は減少)	38,736	△14,249
未払消費税等の増減額(△は減少)	678	△2,194
未払金の増減額(△は減少)	5,850	2,206
その他	22,846	11,242
小計	251,546	244,789
利息及び配当金の受取額	3	3
利息の支払額	△1,038	△1,300
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△39,774	1,801
営業活動によるキャッシュ・フロー	210,737	245,293
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△27,616	△65,193
無形固定資産の取得による支出	△197,910	△219,372
敷金及び保証金の差入による支出	△1,801	—
敷金及び保証金の回収による収入	226	145
投資活動によるキャッシュ・フロー	△227,101	△284,420
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	33,000	46,000
長期借入れによる収入	—	300,000
長期借入金の返済による支出	△116,652	△126,126
配当金の支払額	△43,217	△43,223
財務活動によるキャッシュ・フロー	△126,869	176,650
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△143,233	137,523
現金及び現金同等物の期首残高	617,349	461,052
現金及び現金同等物の四半期末残高	474,115	598,575

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	社労夢事業	CuBe事業	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	1,020,876	220,333	1,241,209	—	1,241,209
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12,966	3,084	16,050	△16,050	—
計	1,033,842	223,418	1,257,260	△16,050	1,241,209
セグメント利益又は損失 (△)	47,377	△20,930	26,446	3,711	30,158

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	社労夢事業	CuBe事業	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	1,110,856	224,756	1,335,613	—	1,335,613
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,303	2,003	5,306	△5,306	—
計	1,114,159	226,760	1,340,919	△5,306	1,335,613
セグメント利益又は損失 (△)	73,911	△41,873	32,038	8,024	40,063

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。